

現場指導者に役立つ指導方法 その1、(基礎言語能力編) 入職直後の日本語教育指導方法は、これしかない！！

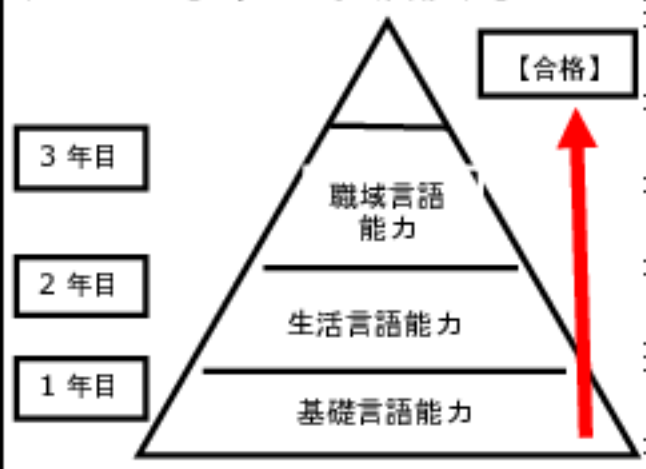
- ※ E P A 協定に基づく看護・介護分野に、外国人受け入れを始めて、今年で10年目を迎えた。
- ※ この間、多くの現場から入職直後の受験者は、「日本語力がない」とか、会話力はそこそこあるが、「本当に理解できているのか」との、不安や心配の声などが多数、弊社に寄せられてきた。

- ※ これらの声を考慮して、今月号からは、現場指導者に役立つ指導方法を、連載することとした。
- ※ 新企画のねらいは、【日本語教授法】に基づく、教授方法を分かり易くひも解いて、現場の教育指導者が、すぐに現場指導に適用できる内容にしていきたいと、考えている。

I、【言語能力を知らずして、指導方法はなし！！】

- 日本語教育に限らず、全ての教育の大前提には、対象者となる人の「現在持っている能力」を、【指導する側が客観的に把握した上で対応すること】は、当然のことだ。しかしながら、E P A 受験者に対しては、「日本語能力の実力」を知らないままに、来日直後の集中研修報告だけが、受験者情報として知らされているに過ぎない。
- 実態は、事業団が行う定期テストの結果をもって、受験者の能力判断をしている受け入れ機関が多い。しかしながら、事業団テストはマークシート方式であるために、「読解力(読む力)」だけが表面化しているために、言語能力として必要な【四つの基本技能】(表3参照)が把握できないままに指導しているのが、現状だ。このことは、受験者の言語能力段階(表1参照)の区分が分からずに、指導を行っていると言わざるを得ない。この状態を改善することが、指導方法を確立する基本となる。

表1、【言語能力育成段階表】



II、【言語能力を知るためには、構文力(書く力)の有無が目安！！】

- 受け入れ機関の職員は、受験者の会話力だけで日本語力の有無を判断していることが多い。但しこの場合においては、ワンワードコミュニケーションの範囲であっても、さらには、受験者の反応で内容が伴わない返答があっても、理解していると勘違いをしている。
- 入職直後の受験者には、必ずどの程度の能力があるかを観ることが、絶対必要だ。そのために、「簡単なテーマを与えた作文」を書かせることが重要だ。また、既に入職して数年経っている受験者に対しても、与えるテーマの程度を高くして作文させることで、現状の言語能力を把握することが可能だ。
- 教育効果の高い指導法とは、「学習目標と目的」を明確に定めた計画だ。(表1参照) 受験者の学習目的は、あくまでも国家試験合格を目指すもので、この目的を受験者と指導者が常時、共有しておくことが重要なことだ。
- 表2は【人間が言語を体得する過程】を表したもので、万国共通の習得過程だ。これを基に、表3の【四つの基本技能】を習得させることが、国家試験合格への最も近い道筋だ。

表2、【体得する能力の理解図】

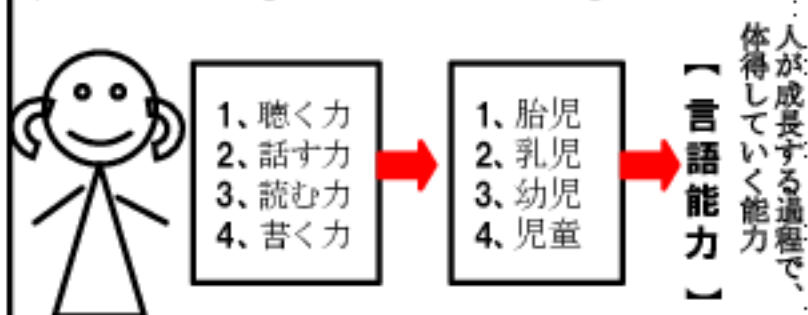


表3、【四つの基本技能の育成が重要】



- ※ 現代社会で仕事をするためには、【四つの基本技能】を習得した言語能力がなければ、社会人として認知されない。E P A 受験者も同様の言語能力が不可欠だ。

Ⅲ、【国家試験問題に対応できる言語技能の種類とは？！】

- 国家試験の解答方法が「マークシート方式」だと言っても、【言語技能】を身につけておかねば、正しく解答することはできない。その中でも重要な言語技能は、表4の「瞬時反応能力」だ。その理由は、制限された時間内で全ての問題を読解し、解答できる能力が絶対必要だからだ。
 - 表4の7と9を除いて、全ての言語技能が最低日本人の高等学校卒レベルの能力がなければ、専門用語と専門知識を必要とする国家試験問題を正しく読解した上で、正解を導き出す能力があるとは言えない。
 - 特に表4の1「助詞能力」については、日本語の特徴の一つに挙げられる「助詞の意義」が含まれているために、日本人であっても、話を長くする時や、文を長めに書く時などにおいて、助詞の使い分けが不確実になりがちだ。そのために、外国人にとっては、難解な能力だと言える。
 - 試験問題で最も重要視すべき点は、表4の4「文脈能力」であり、情景設定問題を解く場合には、この「文脈能力」が絶対に必要となる。その結果、設定文の内容を読解した上で、質問文を読解して、選択文から答えを選択する能力は、言語能力と専門知識が絶対必要だ。
- よって、国家試験の対応力に必要な言語技能は、表4の中に全てある。

表4、

【言語技能の種類】

A、瞬時反応（正誤なし）
B、瞬時反応（正誤あり）
1、助詞能力「助詞・接続助詞」
2、語彙能力「和語・漢語など」
3、文意能力「単文・重文」
4、文脈能力「接続詞・指示語」
5、読解能力「短文・中文・長文」
6、文字能力「漢字・外来語」
7、文体能力「です・ます・だ体」
8、構文能力「単文・重文・複文」
9、丁寧表現能力「尊敬・謙譲語」

Ⅳ、【基礎言語能力がなければ、専門知識は理解できず！！】

- 表1【言語能力育成段階表】と表2【体得する能力の理解図】と表3【四つの基本技能の育成が重要】に関して説明したことは、全て【基礎言語能力の育成】に絶対必要不可欠な要素だ。これらの要素を現場指導者は認識した上で、入職直後から一年目に、日本語教育指導をすることで次の段階の「生活言語能力」を養うための学習環境作りができる。
- 表5は、上記のことを分かり易くするために図で表したものだ。この図で最も重要なことは、「暗記法による無段階」（鳥で表現）は、受験者の言語能力を無視して、ただ単に、専門語彙を説明して、無理やりに覚えさせる方法のことだ。その結果、日本語の骨格を理解しないままに、「ただ単語の羅列状態」が生じて、受験者自らが日本語を使った表現ができない状況を生み出すこととなる。この状態を表す最も特徴的な現象は、日常会話の中で「ワンワードコミュニケーション」が頻繁に行われていれば、受験者はこの症状にあると判断できる。これは所謂、言語障害と言える。→

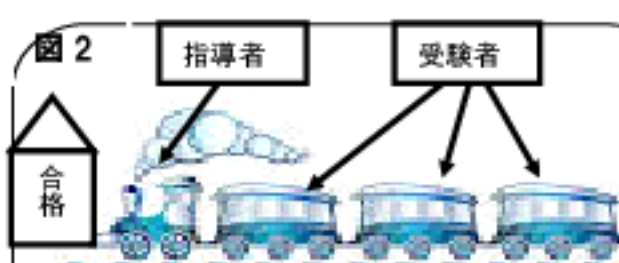
- 現場指導者は、開業に一年目から「専門用語と専門知識」を説明したり、「過去問題を読ませて解かせたり」するだけでは、表6で表したように【指導者が受験者を合格に牽引する役割】を果たすことは、決してできない。
- 現場指導者は、【教育は科学なり】と常に考えて、受験者対応することが重要だ。それは、「受験者との意思疎通を図る方法」として、一番良く理解でき、また、すぐにでも実践できることだ。
- 即ち、教育を科学的に捉えることは万国共通の考え方であり、どの国の受験者にとっても、科学的に言語を捉えさせることが、一番分かり易い方法であることを知るべきだ。そのためには、受験者の言語能力を数値で客観的に把握することが重要だ。

表5、【国家試験合格を目指す道程】



- また、一年目から専門知識を指導している場合は、診にある「暖簾に腕押し・棘に釘」状態が続き、指導者も受験者の反応の悪さに癖癖として所が多い。即ち、受験者の頭の中は指導者の説明が20～30%しか理解できず、また、質問する日本語力すらないことを考えるべきだ。これらの原因は、全て【基礎言語能力がない】結果だ。だからこそ、一年目は【基礎言語能力】を養う必要があるのだ。

表6、【指導者が受験者を合格に牽引する役割】



現場職員の声

「労働力不足」(月報 81 号)の記事を 読んで、実感した!!

- 「労働力不足」の記事は現実味があるので、興味深かった。当施設は、昨年と今年は幸い、ベトナム人受験者を受け入れることができた。
- 競争率が高く、また、大きい法人がベトナム人をごそっと受け入れるという傾向がある。このような中、なんとか受け入れすることができたのは、昨年入職した受験者の紹介が功を奏して、受け入れすることができ、安堵している。

(福岡県・F施設)

EPAだけでなく、技能実習生も難しい?

- 今年もまた、ベトナム人を幸い一名受け入れることができたが、在籍中の受験者一名が結婚のため、帰国した。年頃の女性なので、こればかりは、いたし方ないと残念に思う。だが、また、新たな気持ちで受験者を育てていこうと思う。
- EPAは大きい法人であれば、県をまたいでとれる施設もあるので、小さい法人は受け入れたくても受け入れられない施設も多くある。うちの法人は、技能実習生も3名、インドネシア人を受け入れる予定で、決まっていたにも関わらず、大手の派遣会社に全部取られて誰一人来なくなってしまった状態だ。そのため、現地まで出向き、面接をしたり、手間暇かけた経費はかかっており、それは全て、無駄になってしまった。
- 技能実習生でさえ、人材確保をする際、今は難しく、また、国を変えて検討しなくては行けない。介護の技能実習生は、他の業種に比べて、日本語研修の時間が長いので、その間で、待遇の良い所に心変わりするケースが多いのだと思う。

(広島県・F施設)

「労働力不足」に備えて、準備!!

- 当施設は今年が初めての受け入れとなり、インドネシア人を確保できた。人手不足は今の所、問題ない。しかし、今後のことを思うと、EPAの受け入れに慣れていかななくては行けない。
- 【月報 81 号】のグラフを見て、日本の人口が急速に減少することが実感できた。このため、「労働力不足時代」に備えて、今から外国人受け入れを積極的にすることが大切だと感じている。

(神奈川県・S施設)

事業団のテストが良くても、 決して、安心できない!

- 3年間EPAを順調に受け入れている。日本語学習については、日本語教師に指導を依頼して、幸い、事業団のテストもそれなりの点数は取れている。しかし、そのテストは範囲を勉強していれば取れるテストだ。二年目、三年目の受験対策で、果たして、どれだけ学習効果が出て、順調に進むのかが、職員としても正直、不安なところでもある。
- 3年間続けて毎年受け入れることができて、受け入れ体制は分かってきたが、一年目の受験者に対する日本語学習の指導について、「この方法で果たして良いのか、悪いのか」が、職員としても、明確に判断できないところに不安がある。

(奈良県・M施設)

教育結果の報告がないので、不安 「10 分間テスト」に参加!!

- 当施設の受験者の日本語学習は、宮城県が主催する講座に参加している。東北福祉大まで通学して、大学の先生が月3~4回指導している。また別途、東北学院大学の学生が定期的に施設に来訪して、異文化交流と言う形で、自分たちの勉強もかねて、日本語で交流している。今は、問題なく学習が進んでいる状況だ。
- しかし、受験者の日本語力に対する客観的な評価がないので、ことばの研究社の「10 分間テスト」に参加したいと思っている。参加する理由は、大学から具体的な日本語力に対する報告がないために、そこが一番、不安だから、参加しようと考えているのだ。

(宮城県・S施設)

「10 分間テスト」参加者の声

※ 「10 分間テスト」参加者には、個別の日本語能力に対する数値が出た【考察票】を添付して、返却している。その後、参加者から聞き取りをした結果、以下のような声が寄せられた。

1. 試験時間が足りなかった。
2. 図の意味が分からなかった。
3. 答え方が分からなかった。
4. 日本語で答えることが大変だった。
5. 自分が日本語の文を書けないことが分かった。
6. 質問文の意味を理解することができなかった。
7. 今の日本語力が分かって良かった。

※ 11月より10分間テストは有料化します。

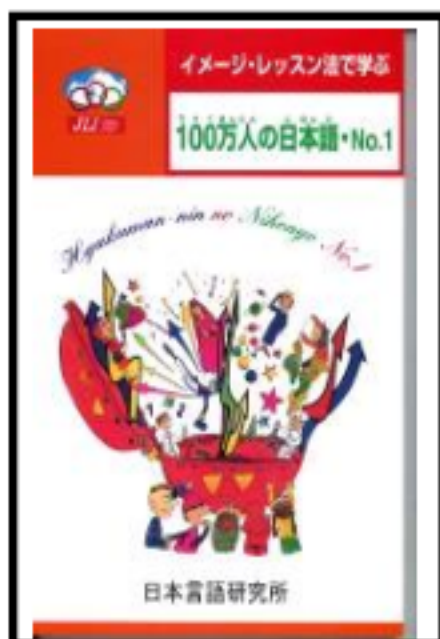
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の無い会館
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

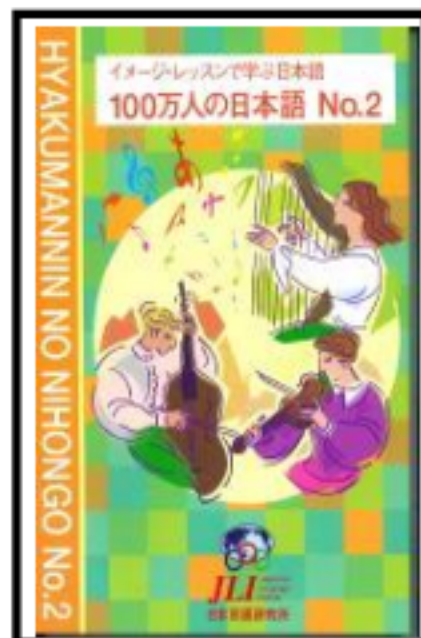
学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805円)

※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805円)

※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,200円)

※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

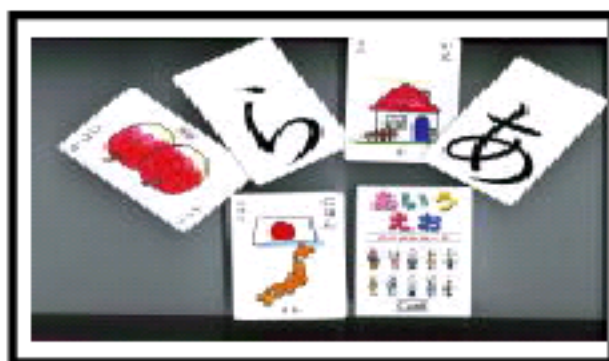
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

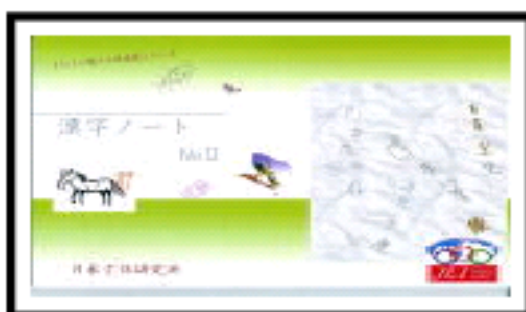
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		